



長尾小学校 学校通信

がんばる！長尾！

校長 隼田 靖宏

授業参観ありがとうございました。

11/18（土）の人権授業参観ありがとうございました。保護者の皆様のご来校により、子ども達がいつも増して笑顔いっぱいでした。

今回は、ご案内していましたように、北九州市対人スキルアッププログラム「子どもつながりプログラム」の実践でした。同じ内容でも、担任や学級の実態によって進め方が違うのにお気づきになられたでしょうか。どの進め方にしろ、今回は子ども達の笑顔がたくさん見られた活動的な授業だったと思います。

私たちが子どもの頃、そしてさらに前の日本では、近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんが地域の子供達を引き連れて遊び、その中で縦の関係、横の関係、そして大人との関わりを教えてきました。それが現在は、子どもそれぞれが忙しくなり、また家庭単位で活動することも増えて、関わり方を親や学校が教えていかないと、子ども自身が困ってしまうような実態があります。学校では、意図的に集団活動や対人スキルの習得を仕組み、縦、横の関係作りを体感させています。その一つの姿が今回の授業参観となります。

学力をつけるだけなら、ネット上の先生などから学ぶことで間に合うかもしれません。しかし、培った学力を使うのは、他との関わりのある「社会」です。学校の存在意義はそこにあると思っています。

これからも、学校で、友達と関わる中で、喜び、嬉しさ、辛さ、悲しさなどを体験させていきたいと思っています。今後とも、子どもの将来のためには、様々な体験をさせることが大切であることを共通理解し、同歩調で子ども達に関わっていければと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

（今回、用事による欠席者が多数いました。仕方がないこともあると思いますが、ご配慮いただければ幸いです。）

授業の変革について

私たちは、学習指導要領に基づき日々の授業を行っています。今回、学習指導要領が改訂され、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）が、より授業の中で求められるようになります。その授業は、今までとずいぶん変わったイメージになります。

今までは、先生の指示が通りやすい、授業が静かに進む先生と子どもの対面式の授業が中心でした。これが、話し合いがたくさんあったり、子どもが自分で意図や課題をもって学習を進めたり、子ども同士で教え合ったりするような活動的な授業になってきます。

その授業は一見、声が飛び交い、教師が何もしていないように映るかもしれませんが、実際は、子どもが自分の考えを友達と豊かに交流し、子どもの思考がアクティブになり、子どもが主体的に授業に取り組んでいる様子を教師が見守っているのです。

すべての教科・単元でそんな授業を行うことはできないと思いますが、計画的に「主体的・対話的で深い学び」のある授業を導入していきます。来年度、実践をどこかで保護者の皆様に公開できればと思います。

防寒具についての確認

防寒具が恋しい季節になりました。長尾小学校のきまりを以下に示します。

【○】手袋、マフラー等

※ 休み時間運動場での使用は手袋のみ

【×】耳あて、フードをかぶる

※ 音が聞こえにくくなり危険なため

【△】カイロ

※ 原則不可です。しかし体調により貼り付けタイプを基本に、外に出さないようにすれば可。

以上、ご協力をお願いします。

